

【アドミッションポリシー】

神学部では、キリスト教が人類の歴史の中で生み出してきた思想や文化的財などについて専門領域ならびに学際的領域での学びを深め、その精神に基づいて社会に奉仕することができるよう、教育することを目標としています。

くわえて高等学校までの基礎的な学習を土台として、ボランティアや課外活動、あるいは社会人としての経験などから培った多様な能力をもつ者を幅広く受け入れています。

そのため、以下の項目を募集方針の要素として、筆記を中心とする一般選抜入学試験と、面接及び口頭試問等を採り入れた各種入学試験によって高等学校における基礎学力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を、それぞれの入学試験において重み付けを行い評価しています。

神学部に入学を望む者に期待することは、

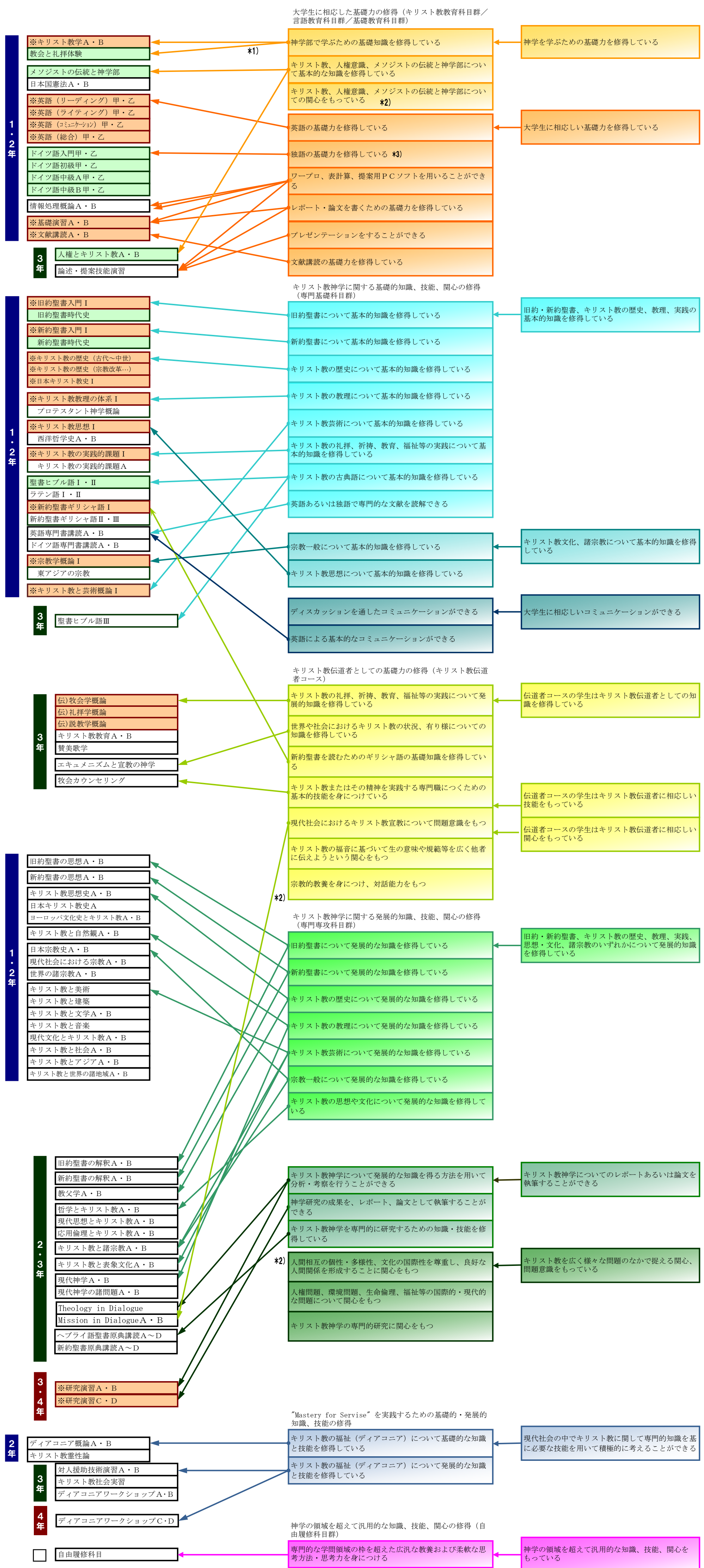
- 1) キリスト教の生み出した思想、文化的財などの学際的領域に興味をもっている
- 2) キリスト教について幅広く関心をもっている
- 3) 世界の歴史や日本の歴史について知識がある
- 4) 日本語、英語について一定水準の能力がある
- 5) 「倫理」あるいは「数学」あるいは「地理」について知識がある

キリスト教伝道者コースに入学を許可される者は、

- 6) 将来クリスチャンワーカーを含めた伝道者となる意志をもっている
- 7) パプテスマ（洗礼）を受けた者である
- 8) 聖書、キリスト教について一定量の知識がある
- 9) 聖書、キリスト教について調べることができる

【目指す学生像】

- 神学の基礎力ならびに、神学の専門知識と研究能力を有している
- 伝道者コースの学生は、キリスト教伝道に必要な知識、能力、関心を有している
- 思想・文化コースの学生は、キリスト教の思想・文化について、広く知識、能力、関心を有している



※ [共通必修科目] 注1) C Pと科目名を結ぶ矢印は、カリキュラムマップにおける「◎(科目の目的)」をもとにしている。「○(関連目的)」を含めての詳細は、カリキュラムマップを参照のこと。[※]=履修コース共通必修科目、(伝)=伝道者コース必修科目

(伝) [伝コース必修] 注2) 関心・問題意識の涵養についてのC Pは科目の主目的にはあたらなため、すべて「○(関連目的)」となっており、ここでは関連性を明示していない。

[選択必修科目] 注3) ドイツ語に替えて、他の言語(全学開講科目)で必要単位を満たしてもよい。

[選択科目]